

「メディア教育研究」(第2号)の刊行に当たって

独立行政法人メディア教育開発センターでは平成16年度から「メディア教育研究」を刊行していますが、その第2号ができました、この号では5件の解説と論文2件、研究資料6件、研究展望2件、海外高等教育事情1件を掲載しています。

ところで、平成16年4月より従来の大学共同利用機関より新たに独立行政法人となりました。本センターは「大学等における多様なメディアを高度に利用して行う教育の内容、方法等の研究及び開発並びにその成果の普及等を行うことにより、大学等における教育の発展に資する」ことを目的としております。大学等のニーズや国の高等教育施策等を的確に把握して、大学等が必要としている内容等に着目した研究及び開発を進め、その普及に努めてまいります。特に、大学等における「先進的IT(情報技術)を活用した教育に関する研究開発」を重点研究課題とするとともに、効果的、効率的な教育を可能とするメディアを利用した教育に関する研究開発と、大学等や学習者を支援する業務を進めることとしております。

また、本センターは、大学等におけるメディアを高度に利用した教育活動に対する支援の一環として、センターの研究成果を内外において広く利活用していただくための情報発信を積極的に行うこととしております。このような観点から、本センターでは、研究成果刊行物として「メディア教育研究」と「研究報告」を発刊し、研究成果を内外に積極的に発信するとともに当該分野の教育・研究者との研究成果の共有に資することとしております。

この「メディア教育研究」は、学術研究誌として発刊するもので、多様なメディアを利用して行う教育の研究及び開発に関する学術研究上の成果(論文、研究資料、研究展望)ならびに動向、展望を掲載します。

また、本年度発刊する「メディア教育研究」は、特集テーマ「e-Learningの実践」を設定し、それに関する原稿を広く求めることとしました。特に、本号は「高等教育における生涯教育への－新たなるe-Learningの実践－」という表題で、大学等の教員に寄稿依頼し編集しております。

今後とも、「メディア教育研究」の編集に当たっては、招待論文、特集なども企画することを検討したいと考えておりますので、様々な形態で研究成果の公表の場として、有効に御活用いただきたく存じます。

平成17年3月

独立行政法人メディア教育開発センター
理事長 清水 康 敬